インターコムと連動して会話を収録!

セナ・ファミリーの一員であるプリズムはブルートゥースを搭載し、インターコムと接続して使えるのがほかの車載カメラとの大きな違い。接続したインターコム側で、プリズムを操作するたびにその状態が音声案内として流れるだけでなく、その音声案内を聞きながら、インターコムのジョグダイヤルやボタンで録画の開始・停止や、撮影モードの切替えといった操作ができる。

もうひとつ特筆すべき点は、プリズムが録画する映像に、インターコムの音声を同時に録音することができるということ。通話相手の声も録音できるため、走り去る景色を撮りながら仲間との会話を録音しておけば、後で仲間と旅を振り返るときに、よりリアルな記憶がよみがえり、その場が盛り上がるのは間違いない。

20Sと接続すると……こんなメリットが!

- 20Sでプリズムの操作が可能
- プリズムの音声案内が聞こえる

ペアリング接続イメージ

プリズムはインターコムとブルートゥース接続することで、インターコム側でプリズムの状態が音声で案内されるほか、録音開始・停止などの操作が可能だ。また、接続したインターコムの会話を映像に重ねて録音できる

インターコムとプリズムがブルートゥースで接続されると、ディスプレイ左上のブルートゥースマークが丸くハイライトされる

SENA 20S

価格:3万6072円(ソロ)、6万9984円(ペア)
サイズ:横94.7×縦48.3×奥行25.5㎜
本体重量:60g
最長通話時間:13時間　最長待受時間:240時間
最大通信距離:最長2.0㎞(見通しの良いところ)

セナ・インターコムの最新モデルにしてフラッグシップ。ブルートゥース4.0モジュールを2個搭載し、オーディオマルチタスクや8台でのグループインターコム機能を実現

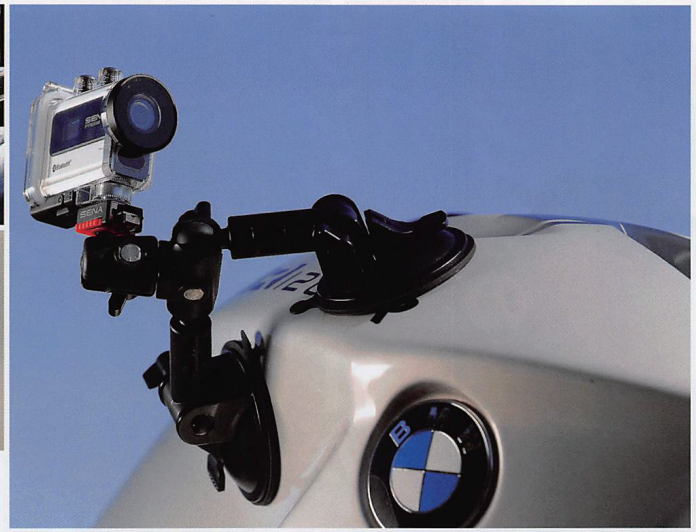
音声の収録モードも用意

プリズムとインターコムを接続して録音する場合、インターコム通話レベルのノーマルオーディオモードに加えて、インターコム1台のみの場合は、CD並みの音質で録音できる「ウルトラHDオーディオモード」が選択可能。ノイズのないクリアな声はセナユーザーなら必聴モノ

- HDモード
- 側音モード

※プリズムはセナの20Sはもちろん、様々なインターコムと接続可能。HFP、AVRCPをサポートしている他社インターコムでは使用機能が限られる場合がある

各種マウントもフルセットで同梱



デュアル吸盤マウントは、面の折り返しの上といった場所に取付けるのに最適で、2本のステーのおかげで防振性も高い。吸盤は非常に柔らかく密着性に優れたものだ

吸盤マウント以外にも付いてくる"使える"マウントたち

棒状のものに固定できる「ハンドルバーマウント」。直径7/8～1 1/2"のバーに対応。カメラ側はボールジョイントで角度は自由自在

ヘルメットのてっぺんに付けるのに最適な「ヘルメットサーフェスマウント」。ピッチ方向のみ調整可能で、その分高さが抑えられる

ヘルメットにも装着できる

プリズムはセナのインターコムと組合せて、自分の声が入った一人称視点のPOV（Point of View）撮影が手軽にできる。装着はインターコムと同じスタイルのヘルメットクランプマウントが使える

簡単にカメラを脱着できる独自の「QRM（Quick Release Mount）」システム。赤いノブをスライドすることで強固なロックがかかる

各種ベースマウントとの組み合わせでさまざまな場所で使える「トップサーフェスマウント」。ボールジョイントで角度調整が可能だ

ヘルメットクランプマウントが差し込めない場合には、帽体表面に貼り付けてホルダーを取付けるマウントベースも用意されている

20Sのマウントと同じように、帽体の縁を挟むようにして装着する「ヘルメットクランプマウント」。カメラの脱着も簡単だ

ゴーグルのバンドに取付けられる「ゴーグルマウント」。カメラ側ホルダーはトップサーフェスマウントも組合せられる

アクセサリーが充実しているのもプリズムの特徴のひとつ。貼り付け式のサーフェスマウントやベルトホルダー、パイプクランプに加え、デュアル吸盤マウントも同梱。この吸盤を2つ備えたマウントは、より確実に取付けができるだけでなく防振面でも高い効果を発揮する。さらに、ヘルメット用にはセナのインターコムと同じ帽体を挟み込む形のマウントが用意されている。こうした同梱のマウントを活用すれば、きっと自分だけのアングルで面白い映像が撮影できることだろう。